

国語科学習指導案

単元名（題材名）「筆者の工夫をとらえて読み、それをいかして伝え方を考えよう」
（『鳥獣戯画』を読む 発見、日本文化のみりよく）

令和6年11月12日（火） 第3校時 6年1組教室
渋川市立渋川北小学校 6年1組 指導者 有井 満春

I 単元（題材）の構想

1 単元観（題材観）

本単元で扱う「『鳥獣戯画』を読む」の筆者である高畑勲氏は、アニメーション映画監督であり、その立場から鳥獣戯画の魅力について、本題材で説明している。筆者は、読者にとって身近な話題で説明したり、言葉の表現を工夫したりするなど、考えを効果的に伝える工夫をしている。

本単元では、まず考えを効果的に伝えるための筆者の工夫を捉えさせる。これは、小学校学習指導要領（平成29年告示）国語第5学年及び第6学年の〔思考力、判断力、表現力等〕「C 読むこと」

（1）ウの指導事項「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。」の内容となる。筆者の工夫を大きく分けると、①始め方の工夫、②相手を惹きつける工夫、③資料の見せ方の工夫になる。

児童はこれらの工夫を生かし、日本文化の魅力伝える動画作成を行う。これは、小学校学習指導要領（平成29年告示）国語第5学年及び第6学年の〔思考力、判断力、表現力等〕「A 話すこと・聞くこと」（1）ウの指導事項「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること」の内容とつながる。話す活動の例として、文部科学省「各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について」（令和2年9月公表）に、「録画機能を活用して、スピーチをよりよいものとする」という紹介がされており、何度も見返すことで、児童の発表をさらによりよいものにすることができる。また、顔の表情・声・身振り手振りなどの非言語コミュニケーションを使い、相手に伝わりやすく表現できる。さらに、たくさんの情報を扱うことで、情報活用能力の更なる向上ができる。

自分の考えが伝わるように工夫する児童を育成するため、筆者の工夫を読み取り、動画作成をする単元を計画した。

2 研究との関わり

総合教育センター（以降、センター）の教育情報推進係では、「自ら情報を収集・活用し、資質向上を図る教職員を目指して」という主題で研究を進めている。

有益な情報をセンターから発信するとともに、研究協力校では教職員の資質向上を促進させるため、様々な研修等でつながりをもってきた（別紙参照）。教職員が情報収集・活用できるか考え、本実践ではセンターの情報を活用した計画を立てた。

SNSや電子版センター日より、Webサイトで発信された、児童の学習課題づくりや思考ツール、動画作成、振り返りの方法を、授業に取り入れた。それらの情報は、研究協力校の校内研修「ともに学び合う児童の育成～「課題の提示」「学び合いの場」「振り返りの積み重ね」3つの過程を通して～」の内容に関わっている。また、実践事例として研究協力校内に発信し、どんな情報をセンターからどのように収集したのか、活用してみてもうどうだったか、などを教職員に発信することで、教職員にセンターの情報の有用性を示すことができる。そして、実践事例に対する意見や代替案など、教職員からの声が届くような仕組みを整備し、センターの情報と学校・教職員のつながりを強化する。

センターと教職員が双方向でつながり、教職員がセンターの情報を収集・活用することができれば、自ら情報を収集・活用し、資質向上を図る教職員を育成できるのではないかと考え、本実践を計画した。

3 単元（題材）の目標及び児童（生徒）の実態

	目標	児童の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者の表現の工夫について理解するとともに、その表現の工夫を自分の動画作成に活用することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学習で、多くの言葉表現を身に付けてきた。 ・ 資料から必要な情報を見つけたり、見つけた情報を相手に伝えたりすることについての知識は、生徒によって差が見られる ・ 相手に分かりやすく伝えることに苦手意識をもっている児童も少なくない。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えを伝えたり、読み取った筆者の表現方法を活用し動画を作成したりする活動を通して自分の考えを表現したりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収集した知識を話したり書いたりして伝え、自分の意見と比べる学習活動を多く行っている。 ・ 自分の考えを表現する方法については、ある程度の知識をもっている。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の文化に興味をもち、文章と図表などを結び付けて必要な情報を読み取ったり、構成を工夫したりして動画表現することに粘り強く取り組み、学習の見通しをもって日本文化の魅力を発信する活動に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な情報を調べたり、自分の考えを伝えたりしようとする意欲は高い。 ・ 生徒の学習意欲は比較的高水準であり、国語学習に対して積極的に取り組んでいる。

4 評価規準

知識・技能	<ol style="list-style-type: none"> ① 話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。(1)イ) ② 比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク) ③ 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。(3)イ)
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> ① 「話すこと、聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ② 「話すこと、聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ③ 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ④ 「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ) ⑤ 「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を、叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ⑥ 「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ)
主体的に学ぶ態度	<ol style="list-style-type: none"> ① 言葉の表現のよさを認識するとともに、進んで資料を読んだり、思いや考えを伝え合ったりしている。

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全12時間：本時第9時）

過程	時間	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目＜方法（観点）＞ ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
つかむ	1	■日本文化の魅力を題材として動画を作成し、他校に発信するという活動の見通しをもち、身に付けたい伝える力について考え、決定できるようにする。 □アンケート結果からこれまでの自分を振り返ったり、友だちからアドバイスをもらったりして自分が課題だと思ったことをピラミッドチャートに記入し、学習テーマを設定する。	○			○進んで資料を読んだり、思いや考えを伝え合ったりしている。 <観察・ロイロノート（主①）>
[本時のめあて] アンケート結果をもとに振り返ったり、アドバイスをもらったりして、自分が身に付けたい伝える力を決定しよう。						
[単元・題材の学習課題] 筆者の工夫を活用して表現する活動を通して、伝える力をつけよう。						
	2	■教科書や動画資料を見たり、グループで話し合ったりして日本文化の魅力だと思ったことをクラゲチャートに記入し、伝えたい内容を考えられるようにする。 □ロイロノートを活用し、グループで協働して日本文化の魅力を整理する。		○		○日本文化の魅力について話し合い、伝えたい内容を考えている。 <観察・ロイロノート（思①）>
[本時のめあて] 資料から、日本文化の魅力を整理し、伝えたいことを決定しよう。						
動画作成の手順② 最も伝えたい内容を明確にする。						
動画作成の手順① 1何を、2誰に、3何のために伝えるのかを明確に提示し、児童と共有する。						

<p>追究する</p>	<p>3 ・ 4</p>	<p>■教科書「『鳥獣戯画』を読む」から、考えを効果的に伝えるための筆者の工夫を読み取り、理解できるようにする。</p> <p>□①始め方の工夫、②相手を惹きつける工夫(書き方)、③資料の見せ方の工夫について調べ、それぞれの工夫をまとめる。</p>	<p>●</p>	<p>○</p>		<p>● 比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。<ロイロノート(知②)></p> <p>○ 文章全体の構成を捉え、筆者の工夫を把握している。<ロイロノート(思⑤)></p>
<p>[本時のめあて]</p> <p>考えを効果的に伝えるための筆者の工夫を読み取り、分類してまとめよう。</p>						
<p>5 ・ 6</p>	<p>■考えを効果的に伝えるための筆者の工夫を動画作成に活用できるようにする。</p> <p>□「鳥獣戯画を読む」から捉えた、考えを効果的に伝えるための筆者の工夫を活用し、動画作成のための台本を考える。</p>	<p>○</p>			<p>○ 筆者の工夫を関連付けて、台本に書く内容を検討している。<観察・ロイロノート(思①)></p>	
<p>[本時のめあて]</p> <p>①始め方の工夫、②相手を惹きつける工夫、③資料の見せ方の工夫の3つの工夫を取り入れて台本作りをしよう。</p>						
<p>7 ・ 8</p>	<p>■教科書「『鳥獣戯画』を読む」から、読み取った3つの工夫をプレゼンテーション資料にも活用できるようにする。</p> <p>□3つの工夫を取り入れて、日本文化の魅力を伝えるプレゼンテーション資料を作成する。</p>	<p>○</p>			<p>○ 3つの工夫を活用し、自分の考えが伝わるように工夫している。<ロイロノート(思③)></p>	
<p>[本時のめあて]</p> <p>3つの工夫を取り入れて動画作成で使うプレゼンテーション資料を作成しよう。</p>						

動画作成の手順③
動画作成の時に気を付けることや、ルール、これはやってほしいということを見童と共通理解する。

動画作成の手順④
動画の台本(絵コンテ、コマわり)の計画を立てる。分かりやすく伝わるように、身振り手振りや演技、音楽についての補助説明も書くようにする。

動画作成の手順⑤
プレゼンテーション資料や演技の小道具、音楽の用意を台本にしたがって用意する。資料には静止画も活用しやすい場合がある。

9 ・ 10	<p>■ 3つの工夫を取り入れた台本や資料を使って、考えを効果的に伝えられるような動画を作成できるようにする。</p> <p>□ 日本文化の魅力を発信する動画作成（動画の撮影と編集）をする。</p>	●	○	<p>● 資料を活用したり、話し方や言葉を考えたりして、自分の考えが伝わるように工夫することができる。</p> <p><動画・ロイロノート（思②）></p> <p>○ 話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。</p> <p><動画（知①）></p>
<p>[本時のめあて]</p> <p>3つの工夫を取り入れた台本や資料を使って、日本文化の魅力が伝わる動画を作成しよう。</p>				
ま と め る	<p>■ 動画を見て意見交換をし、自分の考えを話したり、聞いたことを生かしたりできるようにする。</p> <p>□ 動画作品を鑑賞し合い、それぞれが工夫したところを確認し、スプレッドシートを活用して意見を交換する。</p>	○		<p>○ 自分の考えが伝わるように表現を工夫している。</p> <p><ロイロノート（思②）></p>
<p>[本時のめあて]</p> <p>動画を見合って意見交換することを通して、考えが伝わる動画になっているか確認しよう。</p>				
12	<p>■ この単元で学んだことを振り返り、これからの学習に生かせるようにする。</p> <p>□ これまで積み重ねてきた振り返りや学習成果物をもとに、この単元で学んだことを振り返る。</p>	●		<p>● 粘り強くこの単元で学んだことを自分なりに振り返っている。</p> <p><ロイロノート（主①）></p>
<p>[本時のめあて]</p> <p>この単元で学んだことを振り返り、今後の学習に生かせるようにしよう。</p>				

動画作成の手順⑥
撮影ができる十分な場所を用意する。基本的に、役割演技ではフロントカメラでの撮影、資料を活用した撮影は画面録画となる。場面ごとに区切って撮影させたり、撮影後に言葉を吹き込んだりもできる。撮影後には文字や音声を入れるなどの編集をさせる。

動画作成の手順⑦
他者からの意見を取り入れて動画を推敲する。編集可能な場合はよりよいものに作りかえる。

動画作成の手順⑧
完成した動画の取り扱いを確認する。

II 第9時の学習

- 1 **ねらい** 資料を活用したり、話し方や言葉を考えたりして、自分の考えが伝わるように考えて動画を作成することができるようにする。

2 展開

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(導入5分) S: 3つの工夫があったな。それを動画作成に活用しよう。 S: 動画作成では、相手に伝わるようなものにしたいから、話し方や言葉の表現をよく考えよう。 S: 始まりから、はっきり言えるように意識しよう。</p> <p><めあて・課題等> 資料を活用したり、話し方や言葉を考えたりして考えが伝わるような動画を作成しよう。</p>	<p>◎動画作成の参考となる資料を確認し、児童自身で考えて活動できるようにする。 ○相手意識と目的意識をもてるように、視聴者と「発信3つの工夫」を確認する。 ○「発信3つの工夫」がいつでも確認できるように、黒板に掲示しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発信3つの工夫</p> <p>① 始め方の工夫(具体的な魅力から話し、興味をもちやすくする。)</p> <p>② 相手を惹きつける工夫(たとえ、体言止め、実況風の話し方)</p> <p>③ 資料の見せ方の工夫(2つ以上の資料を効果的に組み合わせる。)</p> </div>
<p>2 4つの場面に分けて動画の撮影をする。発信3つの工夫ができているか、1場面ずつ撮影した後を確認する。(★chromebookのカメラ機能、画面録画)(展開①25分) S: 1の場面では、相手に近い言葉の表現で、視聴者を惹きつけよう。 S: 2の場面には役割演技を入れているので、実際に文化を楽しんでいる演技ができるようにしよう。 S: 資料箱の資料を見ると、役割演技の時は大きめに演じた方が視聴者に伝わるらしいよ。頑張ってみよう! S: 3, 4の場面では、プレゼン資料を使って日本文化の魅力がしっかり伝わるようにはっきりとした口調で説明しよう。</p>	<p>○児童が考えた台本を確認しておき、撮影がしやすい場所が使えるようにしておく。 ○子供たちが効率的に撮影できるように、4つの場面に限定し、役割演技を2の場面に入れることを共通の条件とする。 ○「発信3つの工夫」を取り入れて撮影できるように、台本にどんな工夫をする場面なのか記入させておく。 ◎役割演技は、発達段階として難しく考える児童が多いと考えるので、行う意義が伝わる資料や役割演技のポイントが分かるような資料を児童へ発信しておく。 ○これまでの学習を見返し、ポイントが確認できるようにロイロノートの資料箱を整備する。</p>
<p>3 この時間に撮影できた場면을提出箱に入れ、他のグループのものを参考にする。(展開②5分)</p>	<p>○様々な視点から考えたり、アイデアを組み合わせたりすることができるように、他のグループから話を聞いたり撮影した動画を見せ合ったり</p>

<p>S：他のグループの撮影はどうだったのかな。見せてもらおう。</p> <p>S：こんなに思い切ることができるなんてすごい。私もやってみよう。</p> <p>S：3つの工夫があまり意識できなかったかもしれない。次の時間は改善したい。</p>	<p>する時間とする。</p> <p>○他のグループから学べたことが分かるように、ロイロノートに記入させておく。</p> <p>資料を活用したり、話し方や言葉を考えたりして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。</p> <p style="text-align: center;">＜動画・ロイロノート（思②）＞</p>
<p>4 本時の振り返りをスプレッドシートにする。（★スプレッドシート）（終末5分）</p> <p>S：3つの工夫を意識して撮影することができた。もっと伝えられるようにできるかもしれない。</p> <p>S：他のグループは台本通り進んでいるので、自分たちも台本通りにできるように、演技を頑張りたいと感じた。</p>	<p>◎動画撮影の進捗状況や自分の学びの振り返りが今後できるように、振り返りシートに記入する。</p> <p>○動画撮影を通した学びがあることが自覚できるように、何人かの振り返りを紹介する。</p>

板書計画

発信3つの工夫

① 始め方の工夫
② 相手をひきつける工夫
③ 資料の見せ方の工夫

振り返りから

3つの工夫を入れることができた。
など

今日の学習の流れ

① 動画作成(三十分)
② 今日とった動画提出↓交流
③ 振り返り

めあて

資料を活用したり、話し方や言葉を考えたりして伝わる動画を作成しよう。

11月12日

筆者の工夫をとらえて読み、それをいかして伝え方を考えよう

ロイロノート

